



こんどう ちづる
近藤 千鶴
(キセキ)

学校の統廃合について

問 北部地域と芝川地域の令和2年の出生数は。令和3年の全体の出生数は。

部長 北部地域77人、芝川地域は27人。令和3年の出生数は700人弱になると思われる。

問 複式学級は県下で19学級ある。そのうち8学級が富士宮市で割合が多い。非常勤講師を増やして複式学級の解消は考えていないか。

教育長 考えていない。支援員を任用している。

問 小規模校は人間関係が固定化し、いじめやトラブルの逃げ場がない事をどう思うか。

教育長 それは小規模校も大規模校も同じ、早期発見し、そうならないよう先生にお願いする。

問 統廃合の先にある将来像を示すことが地域の方への安心につながると思いがいかかが。

教育長 今現在、統廃合は考えていない。地域

の要望がまとまれば対応していく。

問 隣の南部町は学校の統廃合の取組をしてきたが富士宮市でもできると思うがいかかが。

教育長 できるかできないかというところ。するかしないかといえ、今の選択はしない。

問 施設一体型の小中一貫校は考えているか。

教育長 小学6年生でしっかり卒業式をした方が、教育効果が高いので小中連携の形でやる。

意見 10年後新入学児童が半数になる。子どもの未来は地域の人や政治家のものでない。子どもたちに平等な教育環境と学習環境の多様性を確保すべき。動き出さなければいけない。

尾崎バイパス開通と周辺道路事情について

問 開通はいつごろか。遅くなった理由は。

部長 日程は未定。沿道への擦りつけ調整に時間を要し遅れた。最後まで事故の無いようする

問 橋場栈道橋の工事着手と芝川駅前の富士川身延線トンネルの撤去に向けての方向性は。

部長 栈道橋は令和4年度に工事着手。芝川駅前のトンネル撤去は県としては考えていない。



なかがめ きょうへい
仲亀 恭平
(育成)

地域で活躍するリーダーや次世代を担う若手が活躍できるように

問 起業等に関して市や民間主導の取組についてどのように考えているか。また、サポート体制ができていのか伺う。

部長 起業等の相談窓口である「ビジネスコネクトふじのみや」において、相談者それぞれに応じた解決策の提案や事業に関する各種手続、補助金申請などに関する支援を行っている。

問 若者の起業等に対する具体的な支援をどのように考えているか伺う。

部長 相談窓口について若者はもちろん、多くの皆様に知ってもらい、活用してほしい。ビジネスコネクトふじのみや専用ポータルサイトのほか、SNSにおいて情報発信し、事業のPRに努めていく。

市長 市民だけではなく、市外の方々にも知ってもらうことで富士宮市の発展につながり、その方々が定着することによって、市が活性化していくと思うので大いに進めていきたい。

市民一人一人が必要な介護サービスを受けられるよう介護人材を確保することが大切

問 介護人材確保の取組と離職対策について。

部長 介護人材確保支援策として、介護職員初任者研修費の助成制度の対象者（研修を修了し一定期間介護事業所に雇用されている人）に対し補助を行っている。

問 今後の介護のイメージアップの必要性。

部長 「介護の仕事体験発表会」の開催を広報ふじのみやへの掲載やポスターの掲示などで後方支援をしている。「介護の仕事体験発表会」は、介護現場で働く職員が経験した苦悩や感動を発表し、大変なだけではない介護の魅力をYouTubeで配信する予定。今後も関係機関と連携し、人材確保につながるよう継続した取組を進めていく。